

## ■ 令和4年度の基本方針

本年度は金庫創立95周年の節目を迎えるとともに、中期経営計画「Smart Shinkin2022」の最終年度にあたり、「課題解決No.1金庫」実現への総仕上げの年度となります。

中期経営計画で確立・発展させてきた「課題解決のための情報サイクル」をさらに進化させて提案のクオリティ・実効性を高め、課題解決のビジネス化を図り、お客さまの満足度の向上を図ります。

昨年度は、業務改革としてさまざまな取り組みをスタートさせました。情報収集の効率化、集積データの分析・還元手法の高度化、営業店窓口支援システムの全店導入、コミュニケーションタブレットの導入、職域専用サイトの開設など、当金庫とお客さまとのさまざまなチャネルを通じた顧客接点の強化で成果を確実なものにしつつあります。

本年度はコロナ禍を乗り越え、コロナ後の新しい社会をつくるため「地域とともに未来を切り拓く」をスローガンとします。情報収集力と業務効率化、課題解決支援メニューの充実により経営改善に向けた伴走支援に取り組みます。

また、ITを活用したお取引先のDX化支援や、顧客マーケティング力の向上、収益力の強化を図ります。

くわえて、課題解決力の向上に向け、外部派遣研修等を増やし、人材育成を継続します。経営支援、事業承継支援、M&A、デジタル化の推進など本部のバックアップ機能を強化し、提案力を高めます。さらにSDGsやESGについて、企業市民として積極的に取り組み、地球環境・社会的課題の解決、地域経済の持続的発展に貢献します。

リスク管理面では、業務を通じてお客さまを守る取り組みを最優先とし、金融犯罪防止、マネー・ローンダリング対応を一層強化します。くわえて、危機管理態勢の強化やサイバーセキュリティへの対応等、諸リスクへの防衛力を強固にし、信頼感・安心感をさらに向上させます。

これらの取り組みにより、中期経営計画に掲げた「地域密着による課題解決No.1」の信用金庫を実現し、金庫創立95周年にふさわしい成果を上げる（未来を切り拓く）年度とします。

以上を踏まえ、令和4年度の「経営の基本方針」を以下のとおりとします。

### 経営の基本方針

「地域とともに未来を切り拓く」  
「ともに苦難を乗り越える」「より親身に、より深く、より迅速に」

- |  |   |
|--|---|
| <p><b>1</b> 持続的な課題解決モデルの確立によるお客さま満足度の向上と収益力の強化</p> | <p><b>2</b> お客さまとの接点機会の拡大・深耕につながる業務効率化の推進</p> |
| <p><b>3</b> お客さまのSDGsの理念共有による地域貢献</p>              | <p><b>4</b> 多能的なスキルアップと専門分野の能力向上</p>          |
|  | <p><b>5</b> リスク対応力の高度化とコンプライアンス態勢強化</p>       |

### 重点施策

- |  |  |
|--|--|
| <p><b>1</b> 持続的な課題解決モデルの確立によるお客さま満足度の向上と収益力の強化</p> <p>1 課題への迅速対応、期待値を超える課題解決提案の強化による収益機会の創出</p> <p>2 ICTコンサルティングほか、新たな課題解決支援メニューの充実</p> <p>3 情報収集力の強化と潜在課題の発掘による課題解決力の向上</p> | <p><b>2</b> お客さまとの接点機会の拡大・深耕につながる業務効率化の推進</p> <p>1 営業・融資事務の一体化、マルチタスク化を通じたお客さまとの接点機会の拡大</p> <p>2 融資業務のデジタル化など基幹業務の電子化による業務効率化の促進</p> <p>3 AIを活用した効率的な営業推進によるお客さまとのコミュニケーションの強化</p> |
| <p><b>3</b> お客さまのSDGsの理念共有による地域貢献</p> <p>1 環境負荷低減やESG投資など、SDGsの理念に沿った取り組みの推進</p> <p>2 地域密着度を高める店舗戦略の展開、同建替、営繕による顧客利便性、職員満足度の向上</p> <p>3 職員への経営理念浸透と地域貢献に資する金庫創立95周年事業の展開</p> | <p><b>4</b> 多能的なスキルアップと専門分野の能力向上</p> <p>1 外部派遣研修、外部機関との連携など、コンサル能力向上への高度専門知識の習得と還元</p> <p>2 人事諸制度の見直しと新たな人材育成プランの確立による職員の総合能力、チーム力強化</p> <p>3 多様な人材の適材適所の配置による活躍機会の創出</p>          |
|  | <p><b>5</b> リスク対応力の高度化とコンプライアンス態勢強化</p> <p>1 リスクマネジメント力の高度化、BCPの実効性確保による危機管理能力の向上</p> <p>2 マネー・ローンダリング対策等の強化による顧客保護管理態勢の充実</p> <p>3 経営理念等の深い理解によるコンプライアンス意識、エンゲージメントの向上</p>        |